

平成28年省エネルギー基準対応

自己適合宣言書文書番号:LXEC-1601

JIS Q 17050-1に基づく自己適合宣言書(附属書) 本附属書は、自己適合宣言書と合わせてお使いください。

開口部の熱貫流率・日射熱取得率 性能一覧 (RWG042)

作成:2016年06月16日

改訂:2023年12月27日

商品: レガリス (アルゴンガス入り・専用5層ガラス)
 仕様: アングル付き・アングルなし (アングル付き同等納まり)
 品種: 縦すべり出し窓 T、TF、TFT 開き窓 C、CF
 横すべり出し窓 S、SF テラスドア TD、TDF
 FIX窓 F 勝手ロドア KD

株式会社LIXIL

ガラス構成ごとの開口部の熱貫流率・日射熱取得率

表中の数値については、当社製ガラスでの評価となります。

		透明								型							
ガラス 構成 (5層)	室外(Low-Eグリーンガラス)	2				3				2				3			
	中間室外側(Low-Eクリアガラス)	1.3				1.3				1.3				1.3			
	中間	1.3				1.3				型4				型4			
	中間室内側(Low-Eクリアガラス)	1.3				1.3				1.3				1.3			
	室内(Low-Eクリアガラス)	2				3				2				3			
熱貫流率 [W/(m ² ·K)] ※樹脂スペーサー仕様	付属部材 なし	シャッター・ 雨戸付	和障子付	風除室 あり	付属部材 なし	シャッター・ 雨戸付	和障子付	風除室 あり	付属部材 なし	シャッター・ 雨戸付	和障子付	風除室 あり	付属部材 なし	シャッター・ 雨戸付	和障子付	風除室 あり	
	0.55	0.54	0.53	0.53	0.55	0.54	0.53	0.53	0.57	0.56	0.55	0.54	0.57	0.56	0.55	0.54	
日射熱取得率	0.20				0.20				0.20				0.19				
(参考) ガラス中央部の熱貫流率	0.34				0.34				0.35				0.35				
ガラスの日射熱取得率																	
日射熱取得率	0.28				0.28				0.28				0.27				

<開口部の熱貫流率 [※1]>

- ・JIS A 4710に基づく試験による熱貫流率[※1]です。
- ・連段窓時に異なる複層ガラスを使用する場合、ガラス中央部の熱貫流率の数値が大きい方での評価となります。
 ※1 国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報」の「窓等の大部分がガラスで構成される開口部(一重構造の建具)の熱貫流率」に応じた、開口部の熱貫流率。

<日射熱取得率>

- ・国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報」の「開口部の垂直面日射取得率」に基づく値です。
 (本表ご使用の場合は、和障子及び外付けブラインド取付け時と同じ値となります。)
- ・開口部の日射熱取得率は、ガラスの日射取得率に0.72の係数を掛けた値です。(小数第三位以下四捨五入)
- ・住宅の仕様基準判断にご使用の場合は、<住宅仕様基準判断用日射熱取得率(ガラスの日射熱取得率)>をご使用ください。